広報 じんじゅ

平成30年7月1日発行　第27号
〒690-2705
雲南市掛合町松笠 2154-1
TEL　0854-62-1500
FAX　0854-62-1501
E-mail：jinju@orange.ocn.ne.jp
URL：http//www.jinju.or.jp

平成　29　年度
事業・決算報告　特集

社会福祉法人
仁寿会

目　　次

１　総　括　　ーーーーーーーーーーーー　　1 ～2

２　法人の状況　　ーーーーーーーーーーーー　　3 ～9

３　施設の利用状況　　ーーーーーーーーーーーー　　10～16

４　共同生活援助事業　　ーーーーーーーーーーーー　　17～18

５　就労継続支援事 業　　ーーーーーーーーーーー　　19

６　地域生活支援事業（公益事業）　　ーーーーーーー－　　20

７　その他　　ーーーーーーーーーーーー　　21

事 業 報 告 書

１ 総 括

平成２９年度４月より改正社会福祉法が施行され、経営組織の在り方が見直され、これまで諮問機関であった評議員会が必置の議決機関となりました。新年度より１２名の新評議委員の皆様により法人運営の基本ルール・体制の決定と監督を行っていただいております。理事会では理事長に竹下三郎理事が再任され、新しい法律に基づいた法人運営を導いていくこととなりました。また、法人設立時から事業運営に携わっていただきました 河角明徳 様が理事職を勇退され、新たに 山本重明 様に理事としてご就任いただいております。

４月１日付で職員の人事異動を行い効率的で持続可能な組織運営を図るとともに、障害者支援施設に生活支援員３名、庶務課に調理員１名の職員を新たに採用し、手厚い支援が提供できる体制を整えました。２９年度末までの退職者数は、自己都合退職が１名、定年退職が３名ありましたが、早期に後任の職員を採用し補充を行っております。

障害者支援施設においては、利用者個々のニーズと能力や特性に配慮した支援に心掛け、安心安全な住まいの場の提供に努めました。毎年懸念されます感染症の流行と拡大については、職員、利用者へ感染防止の啓発活動と日常の健康管理の徹底、早期の医療機関への受診等々により罹患者を最小限に留めることができました。

生活介護事業では、従来の創作活動、社会活動、生産活動等に加え、就労継続支援事業所山光園のパン工房“むくげ”と受託作業科を新たな活動メニューに加え、より厚みのある活動内容といたしました。創作活動では県の障害者アート作品展に出品し、多くの方が入選することができました。受託作業科は地域活動支援センターと連携し、また、パン工房“むくげ”は食パン、バンズが好評により製造体制を維持することで前年度並みの活動と本人支給金を支払うことができました。

就労継続支援事業所は、利用者の高齢化による作業能力の低下や今後のサービス利用希望者の減少等を勘案し、定員を４０名から２０名へ変更、作業科目も農林課と食品科の２科に再編し、効率化と利用者工賃の向上を目指しました。農林科は新たな生産品目を栽培すること、食品科では販路の開拓を行ったことで、総売り上げは前年を上回ることができました。しかしながら、生産・製造に係る経費も増えたことにより利用者工賃のアップには繋がりませんでした。また、一般就労を希望する男性利用者１名が市内の製造関係の事業所にて実施された職場実習の内容が評価され、そのまま当該事業所に就職することができました。

グループホームヴィラサクラは現在雲南市内４か所と奥出雲町内１か所で事業を展開しています。奥出雲町内には平成３０年度グループホームが１か所新設され、ヴィラ佐白の利用者２名が移行することとなっています。今後のヴィラ佐白の運営について、奥出雲町内の法人から譲渡依頼があり、現在 相手方の法人と協議を行っているところです。

グループホーム山楽園は利用者の高齢化が進んでいます。国の方針では、グループホームは重度、高齢障害者の地域生活の場であるとされています。今後はこの方針に沿った対応のできる体制を整えていく必要があると思います。

相談支援事業では、園域内の在宅障害者を中心に訪問を重ね、障害者やその家族等からの相談に応じ、障害福祉サービスの利用支援を行うほか、権利擁護のために必要な援助を行いました。

通所事業に欠かせない送迎用マイクロバスの老朽化が進み、緊急に更新する必要性が生じました。当初は島根県社会福祉協議会が運営する赤い羽根共同募金会で助成を受け普通乗用車の導入を予定しておりましたが、車種を変更して２９人乗りマイクロバスを導入いたしました。また、施設整備においては、障害者支援施設の女子トイレを障害者用トイレに改修、食品加工科の作業場にエアコンを設置することで快適な生活及び作業空間の確保に努めました。

財政的には、法人全体として収入総額が 448,171 千円でありますが、当期資金収支差額は 10,824 千円の単年度赤字になりました。要因としては、出雲労働基準監督署の是正勧告による時間外勤務手当の支払不足分の 3,017 千円の支払。また、更新時期に来ていたマイクロバスの購入 6,190 千円、5 年ごとに更新が必要なメインサーバー1,821 千円など、投資的な費用を要しました。経理区分別にみますと、共同生活援助事業に 18,285 千円、就労継続支援事業所で 5,676 千円の不足が生じ、障害者支援施設拠点区分から拠点区分間繰入により補填し、決算をしている状況です。このことは、当初予算より予定しておりますが、事業の改善が必要であります。当期末支払資金残高は、251,972 千円となりました。

４月３日に始業式、6 月２５日にはスポーツ祭を計画通り実施することができました。しかし、ご家族の参加は年々減少傾向にあります。今後の行事の在り方について検討していく必要があると思います。

仁寿会の一大行事である「ここおやし祭り」は、松笠振興協議会を中心とした地域の皆様に支えられ開催することができました。当日は台風の影響で雨模様となり、ステージ会場及び模擬店の場所、ステージ内容を一部変更することになりました。ステージでは歌・踊りの発表、駐車場では地元の松笠そば、女性部、長寿会、青年団の皆様やご家族の小村様による模擬店の出店、訓練棟では松笠地区有志の皆様と仁寿会利用者の作品展示が行われました。悪天候にもかかわらず、利用者やご家族、地域の皆様のご協力により賑やかな祭りを開催することができました。

家族会の皆様には施設及び周辺の環境整備として草刈りと除草作業、居住棟の窓拭き等奉仕作業をしていただき、快適な環境で生活を送ることができました。また、スポーツ祭では利用者に飲み物を、「ここおやし祭り」では食券を利用者とご家族、職員、地域の方々にご提供していただきました。感謝申し上げます。

今年度も引き続き生け花教室の講師として福田明美先生にご指導していただきました。福田先生には利用者の日中及び余暇活動の充実のためにボランティアでご指導をいただいております。

以上、平成２９年度もご家族や地域の皆様に支えられ事業を運営することができましたことご報告いたします。

2 法人の状況

1　理事数　9名

2　評議員数　12名

3　理事会の開催状況

回	開　催　年　月　日	主　な　議　案
1	平成29年5月20日	平成29年度事業の執行状況について 予備費の使用について 平成28年度 事業報告の承認について 平成 28 年度 計算書類（貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書、及び財産目録）の承認について 役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の制定について 臨時職員就業規則の一部改正について 共同生活援助事業所臨時職員就業規則の一部改正について 就労継続支援事業所山光園 重要事項説明書の一部改正について 共同生活援助事業所ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ山楽園 重要事項説明書の一部改正について 共同生活援助事業所ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ銀杏 重要事項説明書の一部改正について
2	平成29年6月30日	社会福祉法人仁寿会 理事長の互選について
3	平成29年8月26日	平成29年度事業の執行状況について 給与規則の一部改正について 臨時職員賃金規程の一部改正について 就業規則の一部改正について 平成29年度社会福祉法人仁寿会 第1次補正予算について 重要事項説明書の一部改正について
4	平成29年12月23日	平成29年度事業の執行状況について 定款細則の全部改正について 経理規程の一部改正について 育児・介護休業に関する規則の一部改正について 平成29年度社会福祉法人仁寿会 第2次補正予算について
5	平成30年3月17日	平成29年度事業の執行状況について 平成29年度社会福祉法人仁寿会 第3次補正予算について 平成30年度社会福祉法人仁寿会 事業計画について 平成30年度社会福祉法人仁寿会 会計予算について 臨時職員就業規則の一部改正について 臨時評議委員会の招集について

4　評議員会の開催状況

	開催年月日	主　な　議　案
定時評議員会	平成 29 年 6 月 24 日	平成 29 年度事業の執行状況について 平成 28 年度 事業報告の承認について 平成 28 年度 計算書類（貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書、及び財産目録）の承認について 役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の制定について 理事の選任について 監事の選任について
第 1 回 臨時評議員会	平成 30 年 3 月 24 日	平成 30 年度社会福祉法人仁寿会 事業計画について 平成 30 年度社会福祉法人仁寿会 会計予算について

5　監査及び検査の状況

開 催 日 時	区　分	内　　容
平成 29 年 5 月 11 日	監事監査	平成 28 年度分 理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況監査 各会計の決算監査 業務執行の状況及び財産の管理状況監査
平成 29 年 9 月 21 日	内部監査	公印・通帳の保管、寄付金、支払、小口現金、入所者預り金、物品、収入、契約、財務諸表開示等の項目についての執行状況の確認（8 月末日まで）
平成 30 年 3 月 20 日	内部監査	公印・通帳の保管、寄付金、支払、小口現金、入所者預り金、物品、収入、契約、財務諸表開示等の項目についての執行状況の確認（2 月末日まで）

6 資産の状況

資産の部				
	内容	当年度	前年度	増減
流動資産	現金、預金、売掛金、商品・製品、仕掛品、原材料、仕掛品、未収金、貯蔵品、立替金、前払金、仮払金	267,622,848	272,923,261	△5,300,413
固定資産		650,372,162	670,094,953	△19,722,791
基本財産	建物、土地	547,092,129	569,614,740	△22,522,611
その他の固定資産	建物、構築物、車輌運搬具、器具及び備品、投資有価証券、人件費積立預金、修繕費積立預金、備品購入積立預金、施設整備等積立預金、工賃平均積立預金、	103,280,033	100,480,213	2,799,820
資産の部合計		**917,995,010**	**943,018,214**	**△25,023,204**
負債の部				
	内容	当年度	前年度	増減
流動負債	未払金、預り金、仮受金	32,301,094	26,557,185	6,743909
固定負債	設備資金借入金、賞与引当金	28,504,000	32,666,000	△4,162,000
負債の部合計		**61,805,094**	**59,223,185**	**2,581,909**
純資産の部				
	内容	当年度	前年度	増減
基本金	基本金	153,584,900	153,584,900	0
国庫補助等特別積立金	国庫補助等特別積立金	242,280,993	255,517,335	△13,236,342
その他の積立金	人件費積立金、修繕積立金、備品購入積立金、施設整備等積立金、工賃平均積立金	65,132,911	65,132,911	0
次期繰越活動増減差額		395,191,112	409,559,883	△14,368,771
（うち当期活動増減差額）		（△14,368,771）	（3,244,757）	（△17,613,528）
純資産の部合計		**856,189,916**	**883,795,029**	△27,605,113
負債及び純資産の部合計		**917,995,010**	**943,018,214**	**△25,023,204**

7　職員の状況

30 年 3 月 31 日現在　( )兼務職員 単位：人

前年度合計職員数 ７３人

職種別	法人本部	障害者支援施設 山楽園	短期入所 事業所	共同生活援助事業所 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ ｳﾞｨﾗｻｸﾗ	共同生活介護事業所 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ山楽園	相談支援事業所 山楽園	就労継続支援事業所 山光園	地域活動支援事業	合計
施設の長	1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	1
事務局長	1								1
庶務課長	1								1
事業課長	1								1
相談支援事業所長						1			1
医務室長	1								1
嘱託医		1							1
支援・指導員		19	(2)		4		2		25
看護師		1	(1)						1
介助員		4			2	1	3	(2)	10
栄養士	1	(1)	(1)				(1)	(1)	1
調理員	5	(5)	(5)		2		(5)	(5)	7
事務員	3	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	3
警備員		3	(2)		3				6
相談支援専門員						(1)			
ｻｰﾋﾞｽ管理責任者		2		1	1		1	1	6
世話人				6	2				8
運転手		(2)					2		2
合計	14	(13) 30	(15) 0	(4) 7	(4) 14	(5) 2	(10) 8	(12) 1	76

８　支援費等（利用者負担金を含む）の収入状況　　単位：千円

年　度	障害者支援施設 山楽園	就労継続支援事業所 山光園	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ ｳﾞｨﾗｻｸﾗ	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ 山楽園	相談支援事業所 山楽園	地域生活支援事業	合　計
H22 年度	367,783	0	39,276	0	0	0	407,059
H23 年度	264,912	45,050	45,701	13,404	0	0	369,067
H24 年度	276,728	54,147	46,971	50,356	574	8,865	437,641
H25 年度	281,554	54,079	46,345	51,483	2,627	8,213	444,301
H26 年度	282,871	52,289	41,579	52,229	3,436	18,362	450,766
H27 年度	277,661	47,752	33,441	57,724	3,347	14,642	434,567
H28 年度	279,357	43,825	29,453	55,983	2,975	14,081	425,674
H29 年度	298,348	27,916	29,087	55,059	2,681	13,227	426,318
前年比較	18,991	△15,909	△366	△924	△293	△854	664

※障害者支援施設山楽園の平成 23 年度以前は、旧法更生施設及び授産施設の合算額である。

９　預かり金の状況　　単位：千円

年度	利用人数	預かり金総額	最高額	最低額	平均
平成 26 年度	８２人	９６，４５５	７，４４８	５	１，１９０
平成 27 年度	８３人	９７，３４０	７，５５４	７	１，１７２
平成 28 年度	７８人	９０，５２４	７，８４０	１２	１，１６１
平成 29 年度	８０人	９９，４９０	８，０４３	１６	１，２４３

管理責任者：施設長

通帳保管者：支援担当者

印鑑保管者：事業課長

預金現金移動者：出納員

１０　補助事業の状況　　単位：円

補助事業名	補助金の額	自主財源等の額	合　計
独立行政法人 福祉医療機構 施設整備借入金 島根県利息補給金	4,800	3,960	8,760
独立行政法人 福祉医療機構 施設整備借入金 島根県元金補給金	400,000	330,000	730,000
雇用開発助成金（　　）	0	0	0
合　　計	404,800	333,860	738,760

１１　職員研修の状況

研　修　の　名　称	開 催 日	場 所	研修者数
障害者支援区分認定調査員研修	4 月 26 日	出雲市	3
H29 福祉職員キャリアパス	5 月 18 日 19 日	出雲市	2
井上法律事務所　法律セミナー	5 月 18 日	松江市	1
社会保険事務説明会	6 月 7 日	松江市	1
雲南障がい者就業・生活センター連絡会	6 月 12 日	雲南市	1
H29 雲南圏域ブロック連絡会	6 月 16 日	雲南市	1
H29 強度行動障害支援者養成研修	6 月 20 日 21 日	出雲市	1
刈払機取扱い作業者安全衛生教育講習会	6 月 22 日	出雲市	1
H29 雲南地域同和問題トップ研修会	6 月 26 日	雲南市	2
サビ管と相談支援専門との連絡会	6 月 28 日	雲南市	2
H29 島根県社会福祉法人経営者協議会総会及びセミナー	7 月 3 日	出雲市	1
雲南圏域障害者総合支援協議会　就労支援専門部会	7 月 4 日	雲南市	1
H29 福祉職員キャリアパス（中堅職員）	7 月 5 日 6 日	出雲市	2
H29　全国施設長会議	7 月 4 日 5 日	東京都	1
H29 社会福祉法人指導監査説明会・役員研修会	7 月 6 日	出雲市	4
安全運転管理者等講習会	7 月 14 日	雲南市	1
第 59 回中四国知的障害関係施設職員研究協議会	7 月 13 日 14 日	松江市	4
H29 福祉職員キャリアパス（初任者）	7 月 25 日 26 日	出雲市松江市	3
労働条件に関する研修	8 月 7 日	出雲市	1
H29　メンタルヘルスケア研修会	8 月 7 日	出雲市	1
施設における安全衛生管理研修	8 月 10 日	出雲市	1
人事労務管理セミナー	8 月 25 日	松江市	1
相談支援従事者現任者研修	9 月 20 日 22 日	出雲市	1
H29　雲南地域感染症研修	10 月 3 日	飯南町	3
サービス管理責任者現任者研修	10 月 6 日	出雲市	1
H29　福祉サービス苦情解決研修会	10 月 16 日	松江市	5
H29　強度行動障害支援者養成研修	10 月 24 日 25 日	出雲市	1
平成 29 年度雲南市社会福祉法人連絡会	10 月 26 日	出雲市	2
中国地区障害者支援施設部会職員研修	11 月 1 日 2 日	松江市	2
サービス管理責任者研修（共通講義）	11 月 8 日	出雲市	3
採用活動向上支援セミナー	11 月 14 日	松江市	1
障害者福祉サービス経営セミナー	11 月 21 日	出雲市	1
島根県知的障害者福祉協会看護師研修	11 月 24 日	松江市	2
社会福祉法人会計実務研修（中堅）	11 月 28 日 29 日	松江市	1
H29 年雲南地区福祉施設協議会　研修	11 月 29 日 30 日	大和高田市	1
H29 社会福祉法人会計実務研修	12 月 5 日	松江市	1
H29 社会福祉法人監事研修	12 月 6 日	松江市	2
島根県社会福祉協会人材定着セミナー	12 月 6 日	松江市	2

研　修　の　名　称	開 催 日	場 所	研修者数
サービ管理責任者研修（介護）	12 月 7 日 8 日	出雲市	2
平成 29 年度日中活動支援部会全国大会	12 月 11 日 12 日	東京都	1
サービス管理責任者（就労）	1 月 11 日 12 日	出雲市	1
平成 29 年度人権研修	1 月 30 日	出雲市	1
社会福祉法人事務局研修	２月 19 日	松江市	1
平成 29 年度支援スタッフ委員会代表者会	３月６日７日	東京都	1
島根県福祉関係事業所集団指導	3 月 26 日	松江市	5

１２　委員会の開催状況

１）社会福祉法人仁寿会 労働安全衛生委員会

開催日時：毎月 1 回 15：45 より開催

場所：山楽園 事務室

参加委員：本多掛合診療所医師、施設長、事務局長、庶務課長（安全衛生推進者）、事業課長、医務室長（安全衛生管理者）、障害者支援施設サービス管理責任者、就労継続支援事業所サービス管理責任者

内容：職員の職場における危険及び健康障害の把握、労働災害の未然防止に関する事項

２）その他委員会等の開催状況

・入所退所判定会議　　12 回開催
・防 災 委 員 会　　1 回開催
・感染症対策委員会　　7 回開催
・虐待防止対策委員会　　無開催
・個人情報管理委員会　　無開催
・保 健 委 員 会　　随時開催
・食事サービス委員会　　随時開催
・身体拘束ゼロ推進委員会 15 回開催
・セクシャル・ハラスメント防止対策委員会　無開催
・危機管理委員会　　無開催

3 施設の利用状況

1　利用者の状況

平成 29 年度月別利用者数　　単位：人

事業区分		施設入所支援	生活介護	短期入所	就労継続支援事業所 山光園	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ ｳﾞｨﾗｻｸﾗ	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ 山楽園	日中一時支援事業	地域活動支援センター
月	定員	57	80	4	20	25	28	10	15
４月	利用者数	57	85	6	21	22	25	0	3
	利用率	100%	106.3%	150%	105%	88.0%	89.2%	0%	20.0%
５月	利用者数	57	86	6	20	22	26	0	4
	利用率	100%	107.5%	150%	100%	88.0%	92.8%	0%	26.6%
６月	利用者数	57	88	6	19	22	26	0	4
	利用率	100%	110%	150%	95%	88.0%	92.8%	0%	26.6%
７月	利用者数	57	88	6	19	22	26	0	4
	利用率	100%	110%	150%	95%	88.0%	92.8%	0%	26.6%
８月	利用者数	57	88	6	19	22	26	0	4
	利用率	100%	110%	150%	95%	88.0%	92.8%	0%	26.6%
９月	利用者数	57	88	6	19	22	26	0	4
	利用率	100%	110%	150%	95%	88.0%	92.8%	0%	26.6%
１０月	利用者数	57	88	6	19	22	26	0	4
	利用率	100%	110%	150%	95%	88.0%	92.8%	0%	26.6%
１１月	利用者数	57	87	5	19	21	26	0	4
	利用率	100%	108.8%	125%	95%	84%	92.8%	0%	26.6%
１２月	利用者数	57	88	6	20	20	26	0	4
	利用率	100%	110%	150%	100%	80%	92.8%	0%	26.6%
１月	利用者数	57	88	5	20	20	27	0	4
	利用率	100%	110%	125%	100%	80%	96.4%	0%	26.6%
２月	利用者数	56	87	6	20	20	27	0	4
	利用率	98.2%	108.8%	150%	100%	80%	96.4%	0%	26.6%
３月	利用者数	56	86	7	20	20	26	0	4
	利用率	98.2%	107.5%	175%	100%	80%	92.8%	0%	26.6%
合計	利用者数	682	1047	71	235	255	313	0	47
	利用率	99.7%	109%	148%	97.9%	85%	93.1%	0%	26.1%

２　平成29年度月別入院及び外泊日数

単位:人 日

月	区　分	障害者支援施設	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑｳﾞｨﾗｻｸﾗ	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ山楽園
4	入院者数	2	2	2
	延入院日数	39	33	40
	外泊者数	11	5	3
	外泊延日数	47	24	16
5	入院者数	3	1	1
	延入院日数	48	8	8
	外泊者数	13	10	8
	外泊延日数	55	62	36
6	入院者数	1	0	0
	延入院日数	9	0	0
	外泊者数	8	6	1
	外泊延日数	32	19	11
7	入院者数	1	0	1
	延入院日数	15	0	16
	外泊者数	10	6	1
	外泊延日数	42	24	15
8	入院者数	2	0	1
	延入院日数	16	0	21
	外泊者数	16	13	8
	外泊延日数	74	64	40
9	入院者数	0	1	0
	延入院日数	0	14	0
	外泊者数	7	2	2
	外泊延日数	34	11	17
10	入院者数	1	2	0
	延入院日数	7	29	0
	外泊者数	11	6	4
	外泊延日数	44	22	18
11	入院者数	0	2	1
	延入院日数	0	33	23
	外泊者数	9	6	2
	外泊延日数	43	39	14
12	入院者数	2	1	2
	延入院日数	24	12	18
	外泊者数	10	8	6
	外泊延日数	45	47	22
1	入院者数	3	0	2
	延入院日数	53	0	16
	外泊者数	16	11	8
	外泊延日数	70	84	43
2	入院者数	5	0	2
	延入院日数	88	0	16
	外泊者数	4	4	2
	外泊延日数	23	46	12
3	入院者数	4	0	0
	延入院日数	81	0	0
	外泊者数	7	5	4
	外泊延日数	41	46	18

月	区　分	障害者支援施設	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑｳﾞｨﾗｻｸﾗ	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ山楽園
合計	延入院者数	24	9	12
	延入院日数	380	129	158
	外泊者数	122	82	49
	外泊延日数	496	488	262
月当り平均入院日数		31.7	10.8	13.1
月当り平均外泊日数		41.3	40.7	21.8

3　市町村別利用者数（年度末）　　単位：人

市町村名	施設入所支援	生活介護	短期入所	就労継続支援事業所 山光園	グループホーム ヴィラサクラ	グループホーム 山楽園	相談支援事業所 山楽園	日中一時支援事業	地域活動支援事業 -
松江市	2	3	0	1	1	1	4	0	0
安来市	2	2	0	0	0	0	2	0	0
出雲市	10	10	1	1	0	0	12	0	0
雲南市	31	56	5	17	16	19	96	0	1
飯南町	2	3	1	1	0	1	18	0	0
奥出雲町	8	11	0	0	4	5	12	0	0
邑南町	1	1	0	0	0	0	1	0	0
計	56	86	7	20	21	26	145	0	1

4　退所者の状況　　単位：人

区分	施設入所支援	就労継続支援事業所 山光園	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ ヴｨﾗｻｸﾗ	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ 山楽園	計	備考
企業就職	0	0	0	0	0	
他施設利用	1	0	1	1	3	
長期入院	0	0	0	0	0	
家庭復帰	0	0	0	0	0	
死亡	1	0	0	0	1	
計	2	0	1	1	4	

5　医療保健

（1）　定期健診　　単位：

検診内容	受検者数	要精密検査者	検診機関
内科検診	110	14	島根県環境保健公社
大腸がん検査	45	1	雲南市（島根県環境保健公社）

（2）　感染症対策

イ）予防対策

・各室に空気清浄機、加湿機を配備し、空気の浄化と加湿を行った。

・外泊する利用者には健康チェック表を持たせ、帰園時には家族より報告を受けた。

・季節性インフルエンザ、新型インフルエンザ、感染性胃腸炎の予防を念頭に、年間を通じて次の対策を実施した。ジアノック、サポステ等による廊下、トイレ、手すり、ドアノブ等、人の接触する部分の消毒を毎日行った。

ロ）季節性インフルエンザ

・平成 29 年 11 月 27 日から平成 30 年 3 月 8 日の間に、職員 9 名がインフルエンザに罹患した。利用者への罹患は無かった。

・産業医、支援施設嘱託医に報告し、指導を受けるとともに、安全衛生委員会において感染拡大防止と予防対策を協議した。

・発症した利用者は、インフルエンザ検査を受けるとともに内服薬、噴霧薬での治療を受けた。また、発症した職員は医療機関の医師の指示に従って、勤務につくまで休養をとった。

・職員及び利用者に対し、マスクの着用、手洗いの徹底を促した。

・平成 30 年 3 月 12 日には、新たな感染者も居なくなり、また、経過の状況から全員が回復したと判断した。

ハ）感冒

・平成 29 年 9 月 8 日から 9 月 11 日の間に、利用者 32 名が、発熱・咳、鼻汁、声枯れ等の症状がみられた。主治医より発熱者の発生が治まるまで、感染拡大防止に努めるように助言があった。

・支援施設嘱託医に報告し、感染症対策委員会を 9 月 11 日、13 日、15 日、19 日に開催し、感染拡大防止と予防対策を協議した。

・発症した利用者は、医療機関への受診をするとともに、内服薬による治療を受けた。

・職員及び利用者に対し、マスクの着用、手洗いの徹底を促した。

・平成 29 年 9 月 19 日には、新たな感染者も居なくなり、また、経過の状況から全員が回復したと判断した。

二）感染性胃腸炎について

・平成 29 年 7 月 10 日から 7 月 17 日の間に、利用者 13 名、職員 3 名に、発熱、咳き、嘔吐等の症状がみられた。主治医より発熱者の発生が治まるまで、感染拡大防止に努めるように助言があった。

・支援施設嘱託医に報告し、感染症対策委員会を 7 月 18 日、21 日に開催し、感染拡大防止と予防対策を協議した。

・発症した利用者は、医療機関への受診をするとともに、内服薬による治療を受けた。

・職員及び利用者に対し、マスクの着用、手洗いの徹底を促した。

・平成 29 年 7 月 24 日には、新たな感染者も居なくなり、また、経過の状況から全員が回復したと判断した。

6　食事提供サービス

（1）　基本

栄養量は、日本人の栄養所要量食事摂取基準により、加重平均栄養量を求めて、性別、年齢、体位、生活活動強度、栄養状態、病状によって、個々に適正量を提供するよう努めた。

（2）　区分

イ）一般食

高齢者食、　若年者食、　軟菜食、　刻み食、ミキサー食、嚥下食

ロ）治療食

糖尿病食、減塩食、肝臓食、肥満食、腎臓食、貧血食

（３） 食事の提供時間

イ）障害者支援施設 山楽園

朝食 7:30～8:30　昼食 12:00～13:00　夕食 17:50～18:50

ロ）グループホーム 山楽園

朝食 7:30～8:30　昼食 12:00～13:00　夕食 18:00～19:00

ハ）就労継続支援事業所 山光園

昼食　12：00～13：00

（４） 提供食事数

月	食事提供数	
	平成 28 年度	平成 29 年度
４月	7,543	7,496
5 月	7,729	7,757
6 月	7,735	7,711
7 月	7,825	7,761
8 月	6,991	7,685
9 月	7,742	7,640
10 月	7,781	7,824
11 月	7,666	7,679
12 月	7,789	7,736
1 月	7,660	7,697
２月	7,195	7,242
３月	7,855	7,873
計	91,511	92,101

区　分	28 年度	29 年度
一日当り平均利用人数	82 人	84 人
年間食材費総計	30,675 千円	31,948 千円
1 人当り年間食材費	374 千円	380 千円
1 人 1 食当り平均食材費	341 円	347 円
1 人 1 日当り食材費	1,023 円	1,041 円

7　防災

（1）総合防災訓練

実施日　　平成 29 年 11 月 21 日（火）　13：30～15:30

実施内容

ア、夜間における支援施設山楽園北棟乾燥室の出火を想定し、初期消火から避難誘導・避難誘導における安全確認に至るまでの一連の行動について、事前に想定を開示した上で訓練を行った。（避難誘導・通報連絡・避難確認・安全確認）

イ、消火器を用いた消化訓練

ウ、屋内消火栓設備の使用法の研修

エ、防火扉の構造と役割、効果の確認

オ、非常通報装置（連動切替）の説明

訓練参加状況

ア、指導機関　雲南消防本部予防課　2名

イ、協力機関　　総合防災工業　　1名

ウ、職員・警備員　　41名

エ、利用者　　113名

（2）定期避難訓練

年間9回を実施し、確実に短時間で避難ができるよう訓練を行なった。また、訓練に合わせ、建物及び消火器、消火栓等の自主点検を行った。今年度に整備した非常通報装置の機能について、職員会等で周知を図った。

（3）会議の開催

防災委員会を開催し、防災防火に関する対応及び総合防災訓練の手順等について協議した。また、通常の避難訓練後には、問題点を具体的に明らかにして今後の訓練に役立てている。

8　クラブ活動

（1）生け花クラブ

受　講　　毎月1回

会　員　　10　名

指導者　福田 明美

9　当法人等の主催で実施した主な行事

（1）第33回仁寿会スポーツ大会

期　日　　平成29年6月26日（日）　10時00分～12時00分

場　所　　障害者支援施設 山楽園（会議室、ディルーム、訓練棟）

内　容　　雨天のため、予定していたグランドゴルフは中止にし、全員で３Ｂ体操を行った。

・講 師　3名

（2）納涼祭

期　日　平成29年 8月10日（木）　18時30分～20時00分

場　所　障害者支援施設 山楽園　南棟ＤＲ及び駐車場

内　容　ステージイベント

職員及び利用者の踊り、カラオケ、抽選会

駐車場において花火

10、ここおやし祭り実行委員会で実施した行事

（1）第28回ここおやし祭り

期　日　平成29年10月22日（日）　10時00分～14時00分

場　所　障害者支援施設 山楽園 ディールーム、玄関前駐車場、訓練作業室

ア、出店

松笠蕎麦　蕎麦

松笠地区有志　焼き鳥、焼きそば、杵つきもち

松笠長寿会　酒、缶ビール、ジュース

松笠女性部　フランクフルト、おにぎり

利用者家族有志　芋ようかん販売

菅原自治会　芋煮

料亭かげやま　うどん

就労継続支援事業所山光園　豆腐、蒟蒻、油揚げ

生活介護生産活動　ラスク

仁 寿 会　カレーライス、コーヒー、ケーキ、山菜おこわ、おでん

イ、ステージイベント

日中活動グループ発表　　踊り

彩華だんだん　　歌、踊り

名原美代子歌謡ショー　　歌

ダンシングエンジェル　　踊り

おれんじ　　大道芸

ウ、作業訓練室 展示

松笠地区有志　　手芸等各種作品展示

利用者　　創作活動作品、生花作品展示

11、障害者相談及び障害者相談支援センター

(1) 障害者相談支援

①サービス利用計画作成のモニタリング状況

月	件数	備考
4月	15件	
5月	12件	
6月	16件	
7月	9件	
8月	10件	
9月	17件	
10月	14件	
11月	17件	
12月	22件	
1月	11件	
2月	7件	
3月	35件	
計	185件	

(2) 障害者相談支援センター

相談件数　0件

4 共同生活援助事業

1，グループホームヴィラサクラ

(1)　利用状況

施　設　名	所　　在　　地	利用者数	世話人	生活支援員	ｻｰﾋﾞｽ管理責任者	管理者
ヴィラ サクラ	雲南市木次町東日登 261-1	3	2	—	1	1
ヴィラ 佐中	雲南市掛合町掛合 2217-3	4	1			
ヴィラ 松笠	雲南市掛合町松笠 1174-2	3	1			
ヴィラ かすみ	雲南市掛合町多根 490	6	1			
ヴィラ 佐白	仁多郡奥出雲町佐白 312-35	5	1			
計		２１	6	—	1	1

(2)　就労の状況

グループホーム名	ヴィラサクラ（木次）	ヴィラ佐中（掛合）	ヴィラ松笠（掛合）	ヴィラかすみ（掛合）	ヴィラ佐白（奥出雲町）
就労先	山光園 2	山光園 2 せせらぎ 2	山光園 1	山光園 6	けやきの郷 2 ふきのとう 2 宇田川養鶏 1

(3)　防災対策

グループホームにおける防火対策として、7 月 11 日から 7 月 13 日までの間に各グループホーム毎に消防署の指導を受け、避難の訓練、消火器の使用方法等世話人及び利用者が参加して訓練を行った。

(4)　記録類の整備

支援記録を整備し、個別支援計画書に基づく計画的支援を行なった。

2，グループホーム山楽園

(1)　利用状況

施　設　名	所　　在　　地	利用者数	ｻｰﾋﾞｽ管理責任者	生活支援員	世話人	警備員	管理者
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ 山楽園	雲南市掛合町松笠 2154 番地 1	20	1	4	3	2	1
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ 銀杏	雲南市掛合町掛合 941 番地 1	6		1	2	2	
計		26	1	5	5	4	1

(2)　就労の状況

施　設　名	グループホーム山楽園	人 数	備　　考
就労活動の場	就労継続支援事業所 山光園	4	

(3)　防災対策

グループホーム山楽園では、２ケ月に一度、火災時及び土砂災害の避難訓練を実施した。また、銀杏においても、避難の訓練を世話人及び利用者が参加して実施した。

(4)　記録類の整備

支援記録を整備し、個別支援計画書に基づく計画的支援を行なった。

5 就労継続支援事業

１　今年度より定員変更と作業科の再編を行い、利用者の状況に即したサービス提供に努めました。定員は、これまでの 40 名から 20 名へと削減し、作業科は食品加工科と農林業科の 2 科とし工賃向上を目指しました。

農林事業においては、全般的に材料の原木が入り難い一年となりました。傾向として薪ストーブ用の薪の需要は増え、木炭は減少するという状況でした。また、破損していました炭窯の修繕を終えています。作物栽培においては、全般的に気候変動への対応、土壌改良に苦慮し一部売り上げに影響しました。

食品加工においては、販路拡大に力を入れ、更に中古ではありますが機械の一部入れ替えを行い効率化を図り、全体的に製造数を増やすことができました。

２　就労支援事業　売上数量

作業種目	主な製品	前年度売上量	本年度売上量	比較増減（△）
食品加工	豆腐	27,428 丁	28,416 丁	988 丁
	こんにゃく	5,760 枚	7,692 枚	1,932 枚
	油揚げ	12,132 枚	14,477 枚	2,345 枚
	生揚げ	780 個	1,507 個	727 個
農林事業	木炭	2,329kg	1,500kg	△829kg
	薪	5,675 束	6,987 束	1,312 束
	米	58 袋	54 袋	△4 袋
	ピーマン	660 箱	785 箱	125 箱
	水耕ネギ	905 箱	833 箱	△72 箱
	切り花（葉牡丹）	－	228 束	228 束

３　就労支援事業収支状況　　単位：千円

事業所	種目	利用者	収支状況						平均工賃 月/人	前年度平均工賃 月/人
			収入	支出額				収支差額		
				原材料	経費	工賃	計			
就労継続支援事業	食品加工部門	8 人	6,171	2,582	1,731	1,758	6,071	100	18	21
	農林事業部門	13 人	5,822	1,974	2,249	1,718	5,941	△119	12	14
合計		21 人	11,993	4,556	3,980	3,476	12,012	△19	15	17

6 地域生活支援事業（公益事業）

1　受託事業

（1）障害者相談支援事業

雲南市、飯南町より委託を受け次ぎのとおり事業を実施した。

支援方法　　単位；回

相談方法	訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
平成28年度	410	114	72	382	114	120	391	339	1,899
平成29年度	288	72	106	331	104	48	417	285	1,650

（2）地域生活支援事業

雲南市、飯南町、奥出雲町より委託を受け次のとおり事業を実施した。

	実施回数	参加延べ人数	事業概要
本人活動支援事業	9回	218人	障害者間交流事業 ・研修旅行 ・ふれあい交流会 ・クリスマス交流会
地域生活支援事業（生活訓練等事業）	3回	106人	・菓子作り ・野菜たっぷり親子丼作り
地域生活支援事業（スポーツ・リクレーション事業）	3回	108人	・軽スポーツ大会

（3）障害支援区分認定調査委託

雲南市より委託を受け次のとおり実施した。

事業内容	実施件数
県内在住者調査	11件
施設内在住者調査	48件

7 その他

１　苦情処理

① 利用者からサービスに対する苦情　1 件

② 利用者から職員の態度に関する苦情　7 件

③ 家族からサービス及び報告等に関する苦情 1 件

④ 利用者同士の争いによる苦情　　1 件

⑤ その他の苦情　 1 件

２　成年後見人制度利用者

被後見人　19 名（第三者　7 名　　親族　12 名）　　対前年比 2 名増

被保佐人　1 名（第三者　1 名）

３　日常生活自立支援事業利用者

実施者　　雲南市社会福祉協議会

利用者　6 名　　対前年比 0 名増